

# 1 企画展:1

## 弘前の文化財

4月2日(土)～5月8日(日)

近年新たに文化財の指定や登録を受けた資料とともに、当館に収蔵されている郷土を代表する貴重な「弘前の文化財」をご紹介します。



(右)新井晴峰  
「紙本着色観桜観楓図屏風(右隻)」館蔵



歌川広重 「保永堂版東海道五拾三次 岡崎宿 矢矧之橋」  
個人蔵

# 2 特別企画展:1

## 歌川広重 二つの東海道五拾三次

5月21日(土)～7月10日(日)

歌川広重の名を一躍有名にした大ヒット作「東海道五拾三次」は、江戸の日本橋から京都の三条大橋までを結んだ東海道を題材に描かれ、江戸っ子の旅への憧れをかきたてました。今回は、現存数の少ない保永堂版・丸清版を展示し、時代を席卷した浮世絵の魅力をご紹介します。

# 3 企画展:2

## 弘前ねぶた300年

—これまでの300年、これからの300年—

前期:7月23日(土)～8月14日(日)  
後期:8月20日(土)～9月25日(日)

今年は、ねぶたが文献に登場して300年。これまでの300年を振り返り、これからの300年を考えます。  
※前期・後期で一部展示替えを行います。



現存最古のねぶた絵  
小島左近筆 館蔵



お祭り大将 ヤーヤドン▶

# 4 企画展:3

## 青森県の版画家たち

前期:10月8日(土)～11月13日(日)  
後期:11月19日(土)～12月18日(日)

弘前市出身の世界的版画家 天野邦弘の画業にまつわる資料とともに、青森県を代表する木版画家たちの作品も織り交ぜながら、「青森県の版画」の魅力をご紹介します。  
※前期・後期で一部展示替えを行います。

# 5 特別企画展:2

## サルバドール・ダリ

2023年1月14日(土)～3月26日(日)

サルバドール・ダリ(1904-89)は、シュルレアリスムを代表する画家として活躍し、一方で、映画や演劇、ファッションなどの異分野へも積極的に参画し、芸術と芸術家のあり方を変革した、まさに現代美術の先駆者の一人といえます。本展は、ダリの大胆かつ奇抜な発想と卓越した描写力で超現実的な世界観が描かれた版画作品を中心に、彫刻や写真などダリの新たな一面を発見できる内容です。

日	月	火	水	木	金	土
4					1	2
	3	4	5	6	7	8
	10	11	12	13	14	15
	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	29
	30					
5	1	2	3	4	5	6
	8	9	10	11	12	13
	15	16	17	18	19	20
	22	23	24	25	26	27
	29	30	31			
6			1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10
	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24
	26	27	28	29	30	
7					1	2
	3	4	5	6	7	8
	10	11	12	13	14	15
	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	29
	31					
8		1	2	3	4	5
	7	8	9	10	11	12
	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26
	28	29	30	31		
9				1	2	3
	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	23
	25	26	27	28	29	30
10						1
	2	3	4	5	6	7
	9	10	11	12	13	14
	16	17	18	19	20	21
	23	24	25	26	27	28
	30	31				
11			1	2	3	4
	6	7	8	9	10	11
	13	14	15	16	17	18
	20	21	22	23	24	25
	27	28	29	30		
12				1	2	3
	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	23
	25	26	27	28	29	30
	31					
2023年	日	月	火	水	木	金
1	1	2	3	4	5	6
	8	9	10	11	12	13
	15	16	17	18	19	20
	22	23	24	25	26	27
	29	30	31			
2				1	2	3
	5	6	7	8	9	10
	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24
	26	27	28			
3				1	2	3
	5	6	7	8	9	10
	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24
	26	27	28	29	30	31